

保健福祉(都市事例報告)

「枝幸町」医療技術者等修学資金貸付条例による医師確保状況

枝幸町の修学資金貸付制度は、医師に限らず医療技術者及び介護福祉士など、多くの職種を対象として人材確保に努めていることが大きな特徴です。現状では、償還免除の決定後に退職するなど貸付金による継続的な定着にも課題があり、今後検討されている貸付金の増額は、新たな地域間競争が懸念されるが、貸付金額増加を行ってでも医師確保に努めなければならぬという緊迫した実情がうかがえる。

「羽幌町」町ぐるみの医療支援

道立羽幌病院の医師減少を契機に住民と議会は素早く動き、住民は医療現場の厳しさを理解し、医師・病院スタッフが診療しやすい環境づくりの支援を行う地域医療を守る会「折り鶴」を設立。議会は医療問題調査研究特別委員会設置による調査と議論が、地域医療確保に対する機運を盛り上げ、地域医療を守る条例制定につながったことが

うかがえた。また、病院をみんなで支えたいとの熱意で、医師が働き甲斐を感じる魅力を生み出すことにより、持続的な医師確保の参考となる事例です。

「留萌市」基幹病院である市立病院としての医師確保への挑戦

医師の安定確保が地域医療の安定につながると考え、医師から魅力的と思われる研究フィールド構築で多くの医師や学生が訪れるきっかけをつくりまた、研究は住民の疾病傾向の把握と対策を生み出し、大学や医学生双方の医師確保のきっかけづくりに成功している。さらに、住民の高齢化による介護を視野に入れた予防医療体制取り組みは多様な成果を生み出している。



訪問した留萌市立病院

経済建設(事務調査報告)

継続調査の調査第3号「農業振興について」の調査において、富良野市の基幹産業である農業を、まちづくりの中における農業振興の位置づけを確認し、富良野らしい農業とは何か、また、それを目指すべく富良野市の施策としてあるべき方向性をテーマに議論を進めてきました。

経過において、栗山町、石狩市、ニセコ町の都市事例調査を実施し、また、担当部局から平成26年3月に策定される富良野市農業・農村計画策定作業の進捗状況について、資料の提出と説明を求め、意見交換をいたしました。これまでに開かれた審議会では、現行計画の評価・検証が行われ、その結果、今後策定に向けて議論すべき重点項目として ①担い手対策 ②農地流動化対策 ③農村集落対策 ④生産性向上対策の4点が確認され、また、市長へ計画案の策定に向けての意見書が提出され、計画通り進行されている状況にあります。意見交換においては、農

業を単に農業分野だけの問題とせず、「まちづくり」の視点から行政全体の課題としてとらえ、関係する多くの団体や機関と連携した農業振興のあり方について意見が集中したところです。

委員会では今後、農業・農村計画の検証を踏まえた中で、将来的に農業が地域にとって魅力ある産業として持続・発展していくためには地域特性を生かした農業経営システムの確立が必要であり、行政が中心となって地域を包含した支援体制を構築していくことが急務と考えておりさらなる議論が必要なことから継続調査を求めるものです。

経済建設(都市事例報告)

■農業振興について

「栗山町」

栗山町農業振興公社は、栗山町と農業に携わる関係団体から構成され、事業の推進体制に地域を代表する農業者23名が加わっていることで、栗山町の農業全体が組織化されており、農家の個々の課題、さらに地域の課